

2 段階選抜を予告している大学・学部はここだ！

弘前大 - 医(医)で復活、静岡県立大 - 食品栄養科学で廃止

旺文社 教育情報センター 28 年 12 月

平成 29 年の国公立大一般入試で、2 段階選抜の実施を予告している大学・学部等の一覧を紹介する。せっかく出願しても、センター試験（以下、セ試）の得点が足りないばかりに、個別試験（2 次）を受けられない無念は避けたいもの。事前に予告倍率や前年の実施状況などをチェックしよう。

◆大阪大 - 外国語・医(医)の前期で予告倍率を引き締める

「2 段階選抜」とは、所定の志願倍率（志願者数÷募集人員）を超えた大学・学部等が、セ試の成績によって第 1 段階選抜を行い、その合格者のみ 2 次試験を受けられる仕組み。難関大学や医学科などの志望者に立ちはだかる最初の関門だ。

文部科学省発表の「国公立大学入学者選抜の概要」によると、29 年に 2 段階選抜の実施を予告している大学・学部等は **63 大学 157 学部等**で、28 年に比べ 1 大学増えたが、2 学部等減少した。各大学の「入学者選抜要項」をもとに、実施を予告した大学・学部等と予告倍率の一覧表を掲載したので、参考にしてほしい。

【**新規実施**】弘前大 - 医(医)の前期で 10 年ぶりに復活。新設予定の東京海洋大 - 海洋資源環境の前・後期で、出願要件として英語の基準（英語外部検定、またはセ試の得点）を設ける（表中、新規実施は「★」で表示）。

【**予告倍率引き締め**】京都大 - 医(人間健康科学)、大阪大 - 外国語・医(医)、広島大 - 医(医)の前期で、予告倍率を引き締める（＝第 1 段階合格者を絞り込む）。

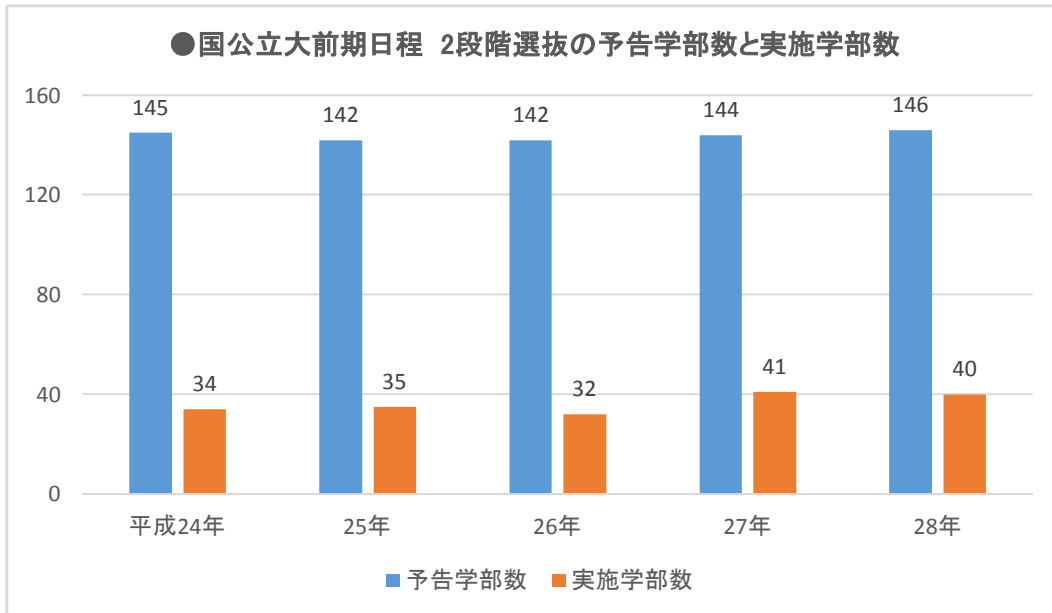
【**廃止**】静岡県立大 - 食品栄養科学の前・後期で廃止する。

【**予告倍率の緩和**】福島県立医科大 - 医、東京医科歯科大 - 医(医)、京都大 - 法の後期などで、予告倍率を緩和する（＝第 1 段階合格者を増やす）。

◆予告学部のうち、実際に行うのは「前期 2～3 割、中・後期 3～4 割」

せっかく出願しても、セ試の得点不足で 2 次に進めない事態は避けたいもの。慎重になるのは当然だが、予告した大学・学部等が全て実施するわけではなく、実施しても全てが予告倍率通りに行うわけでもない。前期日程における、過去 5 年間の予告学部数と実施学部数を比較すると、実際に 2 段階選抜を行った学部数は、予告学部数の 2～3 割程度であることがわかる。後期・中期では 3～4 割程度（表中、28 年の実施大学・学部等を**太字**で表示）。予告倍率を見てあきらめる受験生が多く、難関大や医学科では高学力層の少数激戦となるからだ。また、28 年の前期における第 1 段階不合格者は計 2,745 人で、27 年に比べ 947 人減り（26%減）、仮に予告倍率通りに行った場合の約 85%であった。過去 5 年間の平均でも、前期は約 8 割、後期・中期は約 5 割に留まる。

2 段階選抜を過度に恐れ、慎重になりすぎると、志望校が限定されてしまう。勇気をもって、なおかつ冷静に過去の実施状況や、自己採点集計の 2 段階選抜の予想ラインなどを検討して判断する、「正しく恐れる」姿勢が大切だ。



(注) 文部科学省「国公立大学入学者選抜の概要」による。

平成29年国公立大入試／2段階選抜実施予定大学・学部一覧

【表の見方】①「日程」欄で、「前」＝前期日程、「後」＝後期日程、「中」＝公立大中期日程の略。／②「学部(学科)等」欄の太字は、前年(28年)に2段階選抜を実際に行ったことを示す。／③「学部(学科)等」欄の★印は、新規実施する大学・学部等を示す。／④「予告倍率」欄の倍率は、募集人員の何倍まで第1段階合格者とするかを示す。／⑤「前年比較」欄は予告倍率を28年と比較したもので、「◎」＝廃止、「○」＝予告倍率を緩和、「▼」＝予告倍率引き締め、「-」＝変更なしを示す。

大学	日程	学部(学科)等	29年入試 予告倍率	28年入試 予告倍率	前年 比較
北海道・東北					
北海道大	前	総合入試(文系・理系) ^(注)	4倍	4倍	-
	前	文・教育・法・経済・水産	4倍	4倍	-
	前	医(医)	3.5倍	3.5倍	-
	前	医(保健)	5倍	5倍	-
	前	歯・獣医	6倍	6倍	-
	後	文・法・理・医(保健)・歯・薬・農・獣医・水産	6倍	6倍	-
	後	教育・経済	10倍	10倍	-
旭川医科大	前	医(医・看護)	10倍	10倍	-
	後	医(医・看護)	10倍	10倍	-
弘前大	前	医(医)★	8倍	(新規)	-
東北大	前	文・教育	約5倍	約5倍	-
	前	医(医・保健)	約3倍	約3倍	-
	前	法・経済・理・薬・工・農	約4倍	約4倍	-
	前	歯	約4.5倍	約4.5倍	-
	後	経済	約15倍	約15倍	-
	後	理	約20倍	約20倍	-
秋田大	前	医(医)	5倍	5倍	-
	後	医(医)	7倍	7倍	-
山形大	前	医(医)	約4.5倍	約4.5倍	-
	後	医(医)	約10倍	約10倍	-
札幌医科大	前	医	5倍	5倍	-
	前	保健医療	3倍	3倍	-
福島県立医科大	前	医	約5倍	約5倍	-
	後	医	約10倍	約9倍	○

(注) 北海道大-理・薬・工・農の前期は「総合入試のみ」で実施。その他の学部は、学部別入試も前期で実施。

関東・甲信越					
筑波大 ^(注1)	前	国際総合、生物資源、理工学群、医	約5倍	約5倍	-
	前	社会	約7倍	約7倍	-
	前	人間学群、看護、医療科学	約4倍	約4倍	-
	前	体育専門学群	約3倍	約3倍	-
	後	生物資源	約8倍	約8倍	-
	後	応用理工、工学システム、社会工、医療科学	約10倍	約10倍	-
群馬大	前	医(医)	約3倍	約3倍	-
千葉大	前	法政経・国際教養(特色型)	4倍	4倍	-
	前	医	3倍	3倍	-
	後	法政経	15倍	15倍	-
	後	医	7倍	7倍	-

大学	日程	学部(学科)等	29年入試 予告倍率	28年入試 予告倍率	前年 比較
東京大	前	文1・文2・文3	約3倍	約3倍	—
	前	理1	約2.5倍	約2.5倍	—
	前	理2	約3.5倍	約3.5倍	—
	前	理3	約4倍	約4倍	—
東京医科歯科大	前	医(医)・歯(歯)	約4倍	約4倍	—
	後	医(医)	約8倍	約6倍	○
	後	歯(歯)	約6倍	約6倍	—
東京海洋大	前	海洋生命科学	(注2)	(注2)	—
	前	海洋資源環境★	(注2)	(新設)	—
	後	海洋生命科学	(注2)	(注2)	—
	後	海洋資源環境★	(注2)	(新設)	—
東京工業大	前	第1類～第7類	(注3)	(注3)	—
	後	第7類	約10倍	約10倍	—
お茶の水女子大	前	文教育・生活科学・理	約6倍	約6倍	—
	後	文教育・生活科学・理(数学・生物・情報科学)	約10倍	約10倍	—
一橋大	前	法・経済・商・社会	約3倍	約3倍	—
	後	法・経済・社会	約6倍	約6倍	—
横浜国立大	前	経済	約7倍	約7倍	—
	後	経済	約12倍	約12倍	—
	後	経営	約8倍	約8倍	—
山梨大	後	医(医)	約10倍	約10倍	—
信州大	前	医(医)	5倍	5倍	—
茨城県立医療大	前	保健医療	5倍	5倍	—
	後	保健医療	15倍	15倍	—
埼玉県立大	前	保健医療福祉	5倍	5倍	—
千葉県立保健医療大	前	健康科学	3倍	3倍	—
首都大学東京	前	都市教養・都市環境・システムデザイン	約6倍	約6倍	—
	前	健康福祉	約5倍	約5倍	—
	後	都市教養・都市環境・システムデザイン・健康福祉	約14倍	約14倍	—
神奈川県立保健福祉大	前	保健福祉	6倍	6倍	—
横浜市立大	前	医(医)	約3倍	約3倍	—
長岡造形大	前	造形	3倍	3倍	—
	中	造形	8倍	8倍	—

(注1)筑波大の場合、学群以外の名称は「学類」を略。／(注2)東京海洋大-海洋生命科学・海洋資源環境は、出願要件として英語外部検定が指定基準以上(例:英検準2級以上)、または「セ試の英語が250点中175点以上」(海洋生命科学部海洋政策文化学科では、英語の得点順位が、募集人員の「前期=3倍、後期=12倍」)を設ける。／(注3)東京工業大の前期は基準点を設ける(セ試950点満点中600点。英語リスニング免除者と英語以外の外国語選択者は外国語200点を250点に換算)。基準点未満の場合は出願不可。

北陸・東海

富山大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約15倍	約15倍	—
金沢大	前	医薬保健(医)	3.5倍程度	3.5倍程度	—
福井大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約7倍	約7倍	—
岐阜大	前	医(医)	約15倍	約15倍	—
	後	医(医)	約15倍	約15倍	—
浜松医科大	後	医(医)	15倍	15倍	—
名古屋大	前	医(医)	約3.5倍	約3.5倍	—
	後	医(医)	セ試900点満点中 720点以上で約8倍	—	—
名古屋工業大	前	工1部(創造工学教育課程)	約4倍	約3倍	○
	後	工1部(創造工学教育課程)	約8倍	約7倍	○
三重大	前	医(医)	5倍	5倍	—
	後	医(医)	10倍	10倍	—
静岡県立大	前	看護	4倍	4倍	—
	前	食品栄養科学	—	10倍	◎
	後	経営情報	5倍	5倍	—
	後	食品栄養科学	—	10倍	◎
	中	薬	16倍	16倍	—
愛知県立大	前	外国語・日本文化・教育福祉・情報科学・看護	8倍	8倍	—
	後	情報科学	8倍	8倍	—
名古屋市立大	中	薬	約23倍	約23倍	—

関西

滋賀医科大	前	医(医・看護)	約7倍	約7倍	—
京都市大	前	総合人間(文系・理系)、文・教育(文系・理系)・法・経済(文系・理系)・薬・農	約3.5倍	約3.5倍	—
	前	理	セ試900点満点中 630点以上	—	—
	前	工	約3倍	約3倍	—
	前	医(人間健康科学)	約3.5倍	約5倍	▼
	前	医(医)	セ試900点満点中 630点以上で約3倍	—	—
	後	法(注1)	約15倍	約10倍	○

大学	日程	学部(学科)等	29年入試 予告倍率	28年入試 予告倍率	前年 比較
大阪大	前	外国語	約2倍 ^(注2)	約3倍 ^(注2)	▼
	前	理・工・基礎工	約3倍	約3倍	—
	前	薬	約4倍	約4倍	—
	前	医(医) ^(注3)	セ試900点満点中 720点以上で約2.6倍		▼
神戸大	前	文・国際人間科学・法・経済・経営・理・工・農	約4.5倍	約4.5倍	—
	前	医(医)	セ試900点満点中 650点以上		—
	前	医(保健)	約6倍	約6倍	—
	前	海事科学	約5倍	約5倍	—
	後	法	約7倍	約7倍	—
	後	文・国際人間科学・理・工・医(保健)・農・海事科学	約10倍	約10倍	—
京都市立医科大	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
	前	医(看護)	約5倍	約5倍	—
大阪市立大	前	文・法・経済・商・理・工・生活科学・医(看護)	6倍	6倍	—
	前	医(医)	セ試900点満点中 650点以上		—
	後	文・理・工	17倍	17倍	—
	後	法	14倍	14倍	—
大阪府立大	中	工学域	12倍	12倍	—
奈良県立医科大	前	医(医)	15倍	15倍	—
	前	医(看護=一般枠)	5倍	5倍	—
	前	医(看護=地域枠)	10倍	10倍	—
	後	医(医)	14倍	14倍	—
和歌山県立医科大	前	医	3.3倍	3.3倍	—
	前	保健看護	5倍	5倍	—
	後	保健看護	10倍	10倍	—

(注1)京都市立大-法の後期は「特色入試」として実施。/(注2)大阪大-外国語は、学部全体で予告倍率を超えた場合で、かつ予告倍率を超えた専攻のみ実施。/(注3)大阪大-医(医)の前期は、28年は「セ試900点満点中630点以上で約3倍」。

中国・四国

島根大	前	医(医)	約8倍	約8倍	—
岡山大学	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
広島大	前	医(医)	8倍	10倍	▼
山口大	後	医(医)	15倍	15倍	—
徳島大	前	医(医)	セ試900点満点中 600点以上で5倍 ^(注)		○
	前	歯(歯)	10倍	10倍	—
	後	歯(歯)	15倍	15倍	—
香川大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約12倍	約12倍	—
愛媛大	前	医(医)	約6倍	約6倍	—
高知大	前	医(医)	4倍	4倍	—

(注)徳島大-医(医)の前期は、28年は「セ試900点満点中630点以上で5倍」。

九州

九州大	前	文・教育・法・経済・理・工・医(医・保健)・農・芸術工	約4倍	約4倍	—
	前	歯・医(生命科学)	約6倍	約6倍	—
	後	文	約5倍	約5倍	—
	後	法・経済・農	約7倍	約7倍	—
	後	歯	約8倍	約8倍	—
	後	理・工・薬	約10倍	約10倍	—
佐賀大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約10倍	約10倍	—
長崎大	前	多文化社会	セ試の外国語の 得点率80%以上		—
	後	多文化社会	セ試の外国語の 得点率85%以上		—
	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	前	水産	セ試900点満点中 450点以上		—
熊本大	前	医(医)	約4倍	約4倍	—
大分大	前	医(医)	約3倍	約3倍	—
	前	医(看護)	約6倍	約6倍	—
	後	医(看護)	約7倍	約7倍	—
宮崎大	前	医(医)	約6倍	約6倍	—
	後	医(医)	約10倍	約10倍	—
鹿児島大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約8倍	約8倍	—
琉球大	前	医(医)	約5倍	約5倍	—
	後	医(医)	約5倍	約5倍	—
九州歯科大	前	歯(歯)	約5倍	約5倍	—